平成24年度　負イオン研究会
「負イオン生成および負イオンビーム加速の新展開とその応用」

日時：平成24年12月6日(木)13:30～7日(金)17:00頃
場所：核融合科学研究所　シミュレーション科学研究棟　1階会議室

12月6日

13:30 – 13:40		ご挨拶　安藤晃　＆事務連絡
負イオン科学の基礎と応用		座長：安藤晃
13:40 – 14:20	船木　一幸（JAEA）	（招待講演）イオンエンジングリッド損耗解析シミュレーションツールの研究開発
14:20 – 14:50	和田　元（同志社大）	H-生成基礎過程に関わる最近の動向
14:50 – 15:20	Allan Abraham B. Padama（大阪大）	Work Function Variation in Alkali Metal – W(110) surface
15:20 – 15:50	大原　渡（山口大）	金属表面からの水素正負イオン引出し特性
加速器科学における負イオンビーム開発		座長：森義治
16:00 – 16:40	酒井　泉（福井大）	（招待講演）リング 加速器の負イオンビーム荷電交換入射
16:40 – 17:10	森　義治（京都大）	バイミックスイオンビーム光学と加速
17:10 – 17:30	小栗　英知（原子力機構）	J-PARC負水素イオン源の運転状況
		座長：小栗英知
17:30 – 17:55	上野　彰（原子力機構）	J-PARC高周波負水素イオン源の開発
17:55 – 18:20	山崎　宰春（原子力機構）	高周波イオン源の軸磁場効果
18:20 – 18:30	竹入 康彦(核融合研)	科研費(新学術領域)の申請について
19:00 – 21:00	懇親会	場所：味人（送迎バス NIFS発　18:45）

12月7日

負イオン源の現状と将来計画		座長：笠井英明
9:00 – 9:25	榊田　創（産総研）	高集束・高電流密度を有した低エネルギーイオンビームシステムの開発
9:25 – 9:45	西浦　正樹（核融合研）	LHD-HIBP金負イオン源の現状報告
9:45 – 10:15	小島　有志（原子力機構）	JT-60負イオン源における最近の研究開発
10:15 – 10:40	井上　多加志（原子力機構）	ITER NBI開発と調達の現状
		座長：畑山明聖
10:50 – 11:15	井上　多加志（原子力機構）	DEMO NBIに向けた要素技術開発
負イオンビーム加速		
11:15 – 11:40	柏木　美恵子（原子力機構）	ITER1MeV加速器に向けたビーム軌道制御と2次粒子低減の解析
11:40 – 12:05	木崎　雅志（核融合研）	加速領域の2次粒子の振る舞い
12:05 – 12:30	津守　克嘉（核融合研）	多スロット加速系のビームオプティックス
	昼食	
負イオン源開発基礎研究		座長：津守克嘉
13:30 – 13:55	福山　俊茂（慶應大）	水素負イオン源におけるビームハロ抑制とダブルイオンプラズマに関する研究
13:55 – 14:20	川村　安史（慶應大）	高周波放電型負イオン源における大規模粒子シミュレーションモデルの解析
14:20 – 14:45	柴田　崇統（原子力機構）	10アンペア負イオン源内の水素原子生成解析
14:45 – 15:10	吉田 雅史（原子力機構）	JT-60負イオン源内の非一様性に関する研究
		座長：井上多加志
15:20 – 15:45	船生　拓矢（東北大）	ヘリコン波励起高周波イオン源の動作特性とビーム加速
15:45 – 16:10	池田　勝則（核融合研）	水素負イオン源引出領域におけるHα分布計測
16:10 – 16:35	中野　治久（核融合研）	正負引出・バイアス電圧に対するH-密度特性
16:35 – 17:00		閉会

研究会代表者：安藤晃（東北大工）、 世話人：竹入康彦、永岡賢一、西山洋子（核融合研）
研究会問い合わせ先：n-ion@nifs.ac.jp　　研究会WEB：http://n-ion.nifs.ac.jp/
懇親会会場：味人（多治見市日ノ出町1-2, tel:0572-22-6555, http://www.evis.co.jp/） 世話人：木崎雅志（核融合研）
＊講演者は、5分程度の質疑応答の時間を確保するようにご準備をお願いいたします。